

はしご

3連

取扱説明書



このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起きないように、内閣にしたがって正しくお使いください。

また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保管してください。



● はしごは、正しく使われていないと転落や転倒の危険があります。お買いになるときは、はしごの安定した状態を確認してください。

● はしごは、昇降時の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。

● はしごを使うときは、大人の補助者がはしごをしっかりと支えて、転倒や衝撃しないように、十分注意してお使いください。


● この取扱説明書に記載された使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起されても責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

表示マークについて	1
各部のなまえ	2
安全のために、必ず守っていただきたいこと	3
ご使用上の点検	12
はしごの使いかた	14
1. 設置場所について	14
2. 立てかけた、倒しかた	14
3. 立てかけた	15
4. 倒しかた	15
5. 持ち上げた、降ろしかた	16
使用後のお手入れと保管のしかた	23
1. お手入れのしかた	23
2. 保管のしかた	23
「故障がな」と思ったら(不調対応)	24

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている

 マーク付きの図解は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお読みください。

危険

記載されている内容を守らなければ、死や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死や重大な事故が生じる危険があることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや損傷が生じる恐れがあることを示します。

※図解したままで使用しますと、故障や配管による障害事故の原因になります。



禁止

このマークは、「禁止(してはいけないこと)」を示します。



推奨

このマークは、「推奨(あずまること)」を示します。

《表示について》

警告表示の読み方が一目で理解できるように、製品ラベルの中で警告表示を使用しています。警告表示には下記の意味があります。



感電注意

火と電気の事故・設置時に、配管線に触れると感電して危険であることを示します。



可動部で
手をはさまないよう注意

製品を操作するときに、可動部で手をはさむ恐れがあることを示します。



上はしこや中はしこの
固定や引き上げ禁止

上はしこは、上はしこや中はしこを固定したり、はしこを引き上げたりすると、ロック装置(止め装置)が外れて、転落する恐れがあることを示します。



この面は裏面です 使用禁止

裏面を使うと頭から足を滑らせて、転落する恐れがあることを示します。



左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

各部のなまえ

(目隠しはしこ)

△危険ラベル
(ラベルナンバー: A-13-C)

△警告ラベル
(ラベルナンバー: A-6-C)

△警告ラベル
(ラベルナンバー: A-6-C)

△警告ラベル
(ラベルナンバー: AP-25-C)

取組上の注意ラベル
(ラベルナンバー: AP-7-C)



本体表示ラベル

(ラベルナンバー: A-2-C)

△危険ラベル

△警告ラベル

75 滑り止めラベル

滑り止めユニット
(滑り止め用器具)



エンドキャップ
(樹脂)

足どし

上はしこ

滑車

中はしこ

滑車

ロープ
白色: 上はしこ用
緑色: 下はしこ用

ロック金具
(止め器具)

下はしこ

△注意ラベル
(ラベルナンバー: AP-28-C)

取っ手



ロック金具
(止め器具)

△警告ラベル
(ラベルナンバー: A-3-C)

△警告ラベル
(ラベルナンバー: A-3-C)

△危険ラベル
(ラベルナンバー: AP-27-C)

△危険ラベル
(ラベルナンバー: AP-27-C)

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

△警告 はしことしての用途以外の使いかたをしないでください。



■止

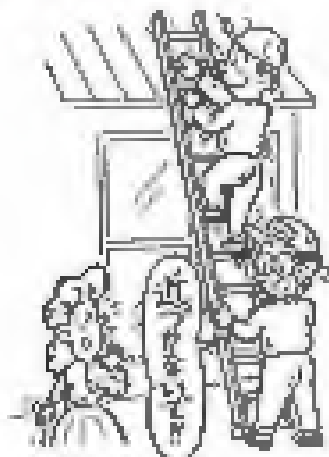
この製品は、床敷などに立て掛けて、曲い前に向き合うような用途に作られた「はしこ」です。使い方を誤ったり、用途以外の使い方をしますと、転倒や転落による重大な事故おこる可能性があります。

△警告 はしこを使うときは、必ず大人の手助け者がはしこを支えてください。



■止

援助者がはしこを支えないと、はしこが倒れます。そのときバランスをくずすと、転倒や転落の恐れがあります。また使用中は、はしこを支える援助者以外の人は近づかないでください。



△警告 この製品は、本体標示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。



■止

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えると、使用しないでください。また、転倒はバランスが倒れる原因の大ききや重さになってください。

△警告 はしこを加工や改造しないでください。



■止

重大な事故を招く恐れがあります。

△警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。



■止

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用するために特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。



禁止

酔っているとき
 薬酒やお酒を飲んだとき
 病気や怪傷しているとき
 身体に風邪を感じるとき
 身体のパンプスが空です、乾乾や乾風の
 恐れがあります。



⚠注意 使用に慣れた履き方で使ってください。



注意

調整を引っぱったり、すそを掴みかける
 恐れのある履き方で使用しないでください。

⚠注意 お使いになるときは、作業用
 (ヘルメットなど) を着用
 してください。



注意

⚠注意 貼けつけてあるラベルが
 なくなったり、剥がれな
 くなった製品は使わないで
 ください。



禁止

必ず、弊社から新しいラベルを取り替えて、
 正しい位置に貼り、内容を正確してから
 使ってください。

※ラベルを貼り替えるときは、ラベルの
 ナンバー(2ページを参照)をご確認ください。

⚠注意 この製品を人に貸すときは、
 取扱説明書も共に貸し
 出してください。



注意

取扱説明書には、安全に使用するときに
 重要なことが書かれていますので、よく
 ご読書のうえ使うように指導してください。

よく使用になる前に

⚠警告 使う前には、必ず「ご使用前
 の点検(1ページを
 参照)」を行い、異常のない
 ことを確認してください。



警告

異常のあるときは、絶対に使わないでくだ
 さい。重大な事故につながる恐れがあります。



スムーズに
 動く

⚠警告 変形したばしこそ、使わな
 いでください。



禁止

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材
 の割れやすさと強度が低いという欠点があります。
 したがって、変形した製品を無理して使
 いますと、結果に折れたら重傷たりして、
 重大な事故の原因になります。

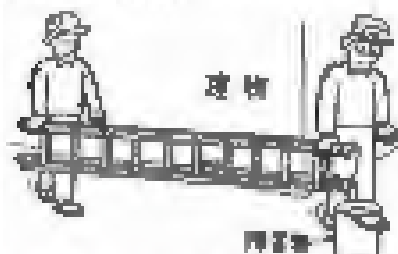
3. 運ぶときは

- △注意** 持ち運びは、はしこの両端を2人で持ち、ゆっくり慎重に行ってください。



■

1人で行うと、人や設備に当たって、事故を起こす恐れがあります。



- △注意** 3通はしを運ぶときは、収納ロック(18ページを参照)で動かないように固定してください。



■

固定しない、はしごとが動き、手などを怪我の恐れがあります。上はしごと中はしごとを一層下まで下げ、収納ロックをロック状態にして運んでください。

- △注意** トラックなどにロープで固定すると、ロープを強く引っ張らないでください。



禁止

固定が変形したり、亀裂が入り、使用中に折れる恐れがあります。

- △注意** はしごとを持ち運ぶときは、引かずったり、振げたり、激震に当たらないでください。



禁止

乱暴に扱うと、変形やへこみ・亀裂の原因になります。

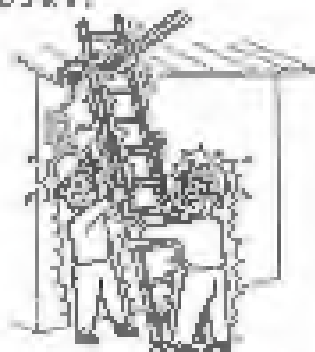
4. 設置する場所について

- △危険** 設置するときや持ち運びときは、配電線に近接してください。



■

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。



- △警告** はしごとが安定しない場所には、設置しないでください。



■止

設置場所が下記の状態では、はしごとが傾いて転倒や坠落の恐れがあります。

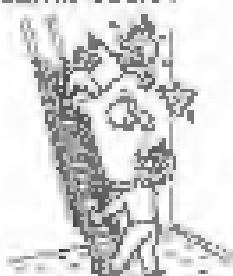
- やわらかい地面や雪で、はしごとが安定しない場所。
- 段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
- 支柱の片側がジャリ、もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場合。
- 傾斜している地面や丘、崖の上。
- 傾斜している場所。
- その他、安定しない場所。

⚠警告 3層はしごは、やわらかい地面で絶対に使わないでください。



禁止

3層はしごをやわらかい地面で使いますと、下はしごが地面に埋もれてロック金具（止め金具）が外れ、上はしごが落下して重大な事故になる恐れがあります。



⚠警告 はしごが滑りやすい場所には、設置しないでください。



禁止

鉄道駅及び下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

●滑りやすいビニール敷の床・タイル・鉄板の上。

●濡れている場所。

●滑りやすいタイル・ガラスなどの壁。

●車道や道路している場所。

●砂・こぼれこり・雪など滑りやすい場所。

●その他、滑りやすい場所。

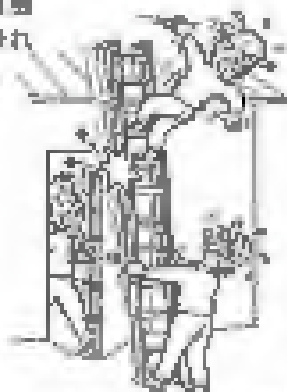


⚠警告 人の出入口やドアの付近には、設置しないでください。



禁止

出入りする人や開けたドアで、はしごが害されて転倒や転落の恐れがあります。



⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。



禁止

濡れた靴などで滑ったり、強い風を受けて本体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。



禁止

足を踏み外したり、周囲の状況や物に気がないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。



禁止

転倒や転落の恐れがあります。

5. はしごを伸ばしたり、縮めたりするとき

- ⚠️ 警告** 3速はしごを伸ばしたり、縮めたりするときは、足元を滑ったり、足を掛けないでください。

上はしごと中はしご及び中はしごと下はしごの継ぎ目の場で、手や足をはさむ恐れがあります。必ず取っ手の中央を握ち、滑り止めユニット（滑り止め取組具）を片手で握んでください。



- ⚠️ 警告** 3速はしごを縮めるときは、はしごの支柱を握らないでください。

玉棒を握つと、手ははさんで、上はしごや中はしごの支柱が手にあたる恐れがあります。

- ⚠️ 警告** ロープから手を離す前に、ロック金具（止め金具）がロック状態であることを必ず確認してください。

ロック状態（17ページ図2を参照）でないときに手を離すと、上はしご及び中はしごが急に落下して事故やはしごの損傷の原因になります。

- ⚠️ 注意** はしごを伸ばすときは、屋根のむきし面などにぶつけないように注意してください。

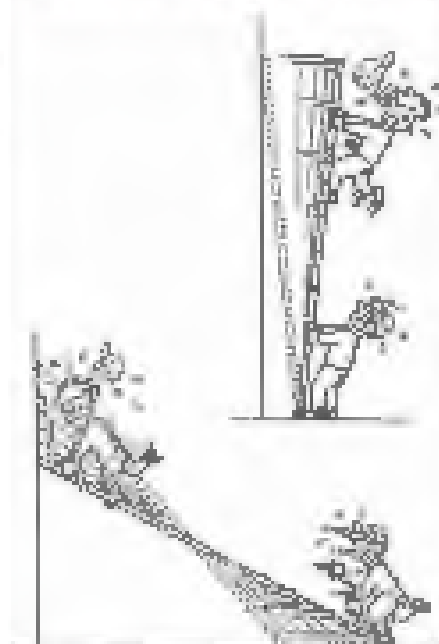
ぶつけると破片の落下などによる事故やはしごの故障の原因になります。

6. はしごを立て垂けるとき

- ⚠️ 危険** はしごの立て掛け角度は、約75度にしてください。



はしごを立てすぎると倒れ、ひかえすぎると滑つるので、転倒や転落の危険があります。



- ⚠️ 警告** はしごの表面は、絶対に滑らないでください。



足を滑らせて転落する恐れがあります。



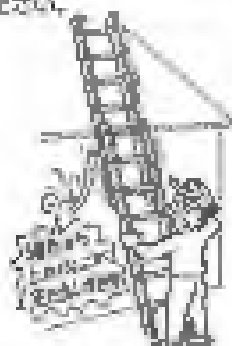
⚠警告



注意

建物の屋根などに立てかける場合は、はしごの接点を上から2段目と3段目の間さんの間が理想的です。

はしごを建物の接点から長く突き出しすぎると、はしごから自動に重力を受ける場合、はしごが動きます。そのときバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。建物の高さに合ったはしごをお使いください。やむをえず、長く突き出るときは、補助索が特に設置してはしごを固定。はしご上の使用者は接点より上の間さんや支柱に体重をかけたらないでください。



⚠警告



禁止

建物の壁に立て掛けた場合は、はしごの上から3段目以上の間さんには乗らないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



⚠警告



禁止

はしごを水平にして使わないでください。

はしごが傾斜して、転倒や転落の恐れがあります。



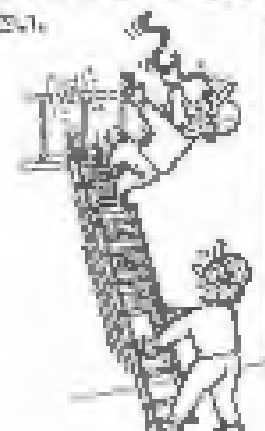
⚠警告



禁止

上はしごや中はしごを固定しないでください。

上はしごや中はしごを固定すると、使用口とロック金具（止め金具）が外れる恐れがあります。このとき上はしごや中はしごの側面裏面を外すと、上はしごや中はしごの落下によって重大な事故を起こす恐れがあります。やむをえず上はしごや中はしごを固定するときは、膨らんだうしろを固定してください。



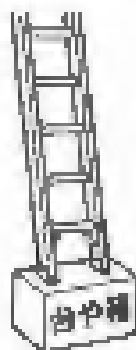
△警告



禁止

はしを長くするために、
削のはしごやパイプ・木など
をつないで作り、台や箱の上に
乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、
台や箱が壊れるなどして、
転倒や転落の恐れが
あります。



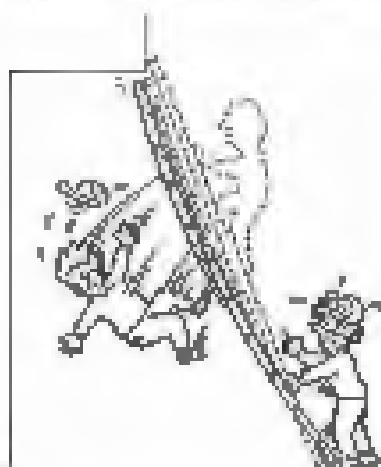
△警告



禁止

壁面のはしごや突き出た壁に、
はしごの先端を立て掛けて
使わないでください。

はしごのしなりや滑りによって、はしごの
先端が外れ、転倒や転落の恐れがあります。



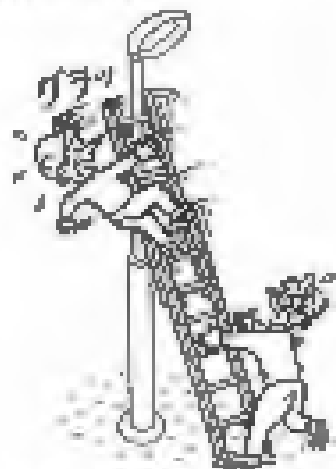
△警告



禁止

壁柱や木など丸いものに
は立て掛けしないでください。

壁柱などが揺れると、はしごが不安定に
なり、バランスをくずして、転倒や転落の
恐れがあります。



7. はしごを降り降りするとき

△危険



禁止

3速はしごは、上はしごや
中はしごを引せ上げない
でください。

上はしごや中はしごを引で上げるとロック
金具（止め金具）が外れ、そのままを落とす
と上はしごや中はしごが落下して、重大な
事故が生じる危険があります。

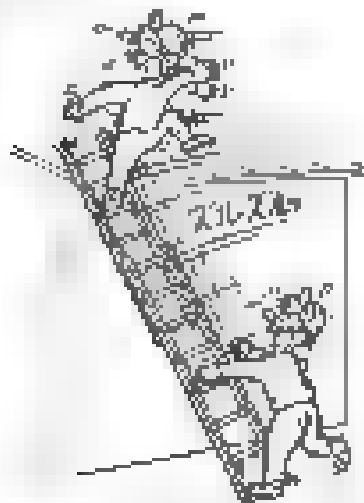
⚠警告



注意

はしごと脚板の間を脱臼すると怪我ははしごがずれないように注意してください。

はしごがずれやすいため、必ず足指や靴底の底が見えます。



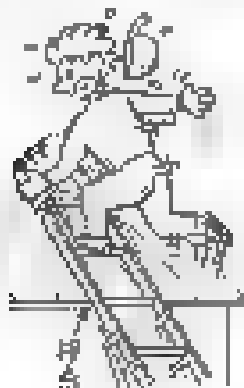
⚠警告



禁止

はしごと脚板の指より上の部分や足時に、体重をかけるしないでください。

はしごの構造が損傷を受けて不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



⚠警告



禁止

脚板の上からはしごを移動しないでください。

身体がゆがみ、足を滑り落ち、脚板が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告



禁止

同時に2人以上乗らないでください。

はしごが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



2人同時に登るな

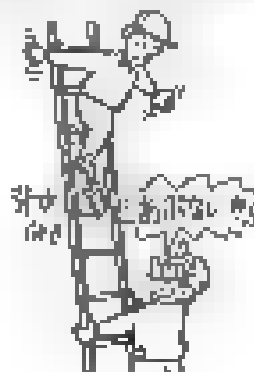
⚠警告



禁止

はしごを背にもたれ、手渡しで昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

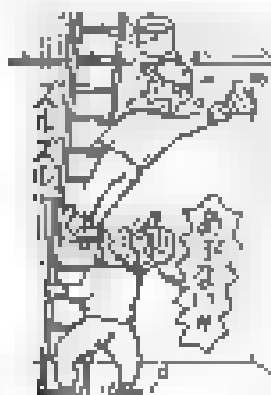


△警告 はしこの支柱から身体を
振り出さないでください。



禁止

身体を振り出すと、ケガをします。また
電線や電線の通線があります。

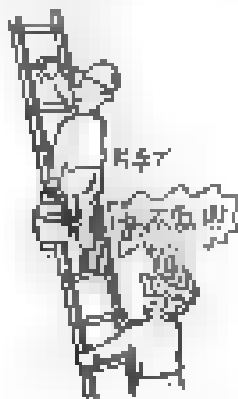


△警告 身体が安定が保たれない
ような荷物を吊って、はしこ
を振り回さないでください。



禁止

ケガをします。また、電線や電線の通線が
あります。今のような状態があると、ま
ず、安全に作業ができません。両手両足を使える
状態にして、作業してください。

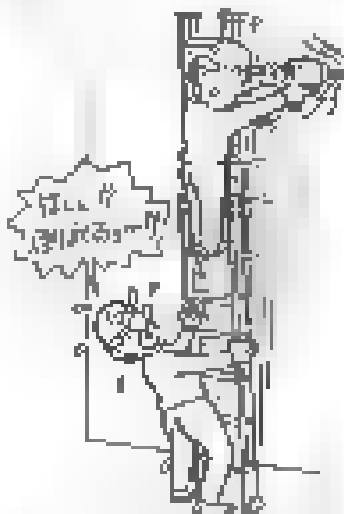


△警告 はしこの上で置かれたり
前後に押したり、引いたり
しないでください。



禁止

壁などを押したり引いたりすると、その反動
で、はしこが立ち上がり、倒れたり、く
づいて、ケガをします。電線や電線の通線が
あります。



△注意 はしこは慎重に降り降りし、
はしこの途中から、飛び降り
たりしないでください。



禁止

落下事故の恐れがあります。降りるときは
膝下段の鎖で止まって、慎重に降りて
ください。

ご使用前の点検

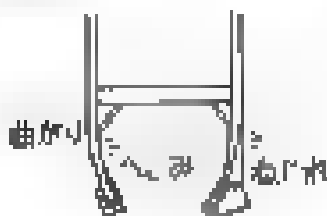
はい？をお読みになる際には、下記の点検事項に異状がないことを確認してください。
また、異状がないが、疑問の点があるものは、正しい知識をいただいた上で使用してください。

目で見ても、下記の点検をしてください。

●**部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。

●**20ベリを巻く**

●**変形、曲がり、折れ、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。



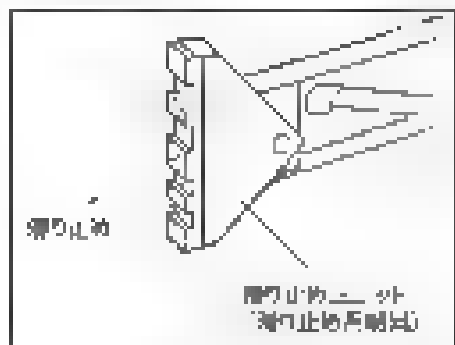
●**部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。



●**滑り止めの部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。

●**滑り止めの部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。

●**滑り止めの部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。

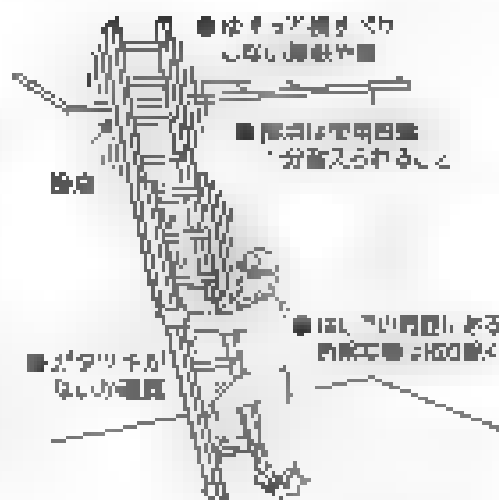


●**滑り止めの部品が、折れ、曲がり、変形、歪み、破損など**、滑りやすいものがないか、滑りやすいものがないか確認している場合は、正しい知識に基づいて使用してください。

はしごの使いかた

1. 設置場所について

- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所 またははしごが置かれる場所を選んだ設置が必要です
- 雨や水のかからない場所、強い風を避けた場所に設置してください
- はしごの両端に吊掛は避け、バランスのよい姿勢で使える位置に設置してください
- 以上の条件が使用基準に十分満たれる場合はガタツキがないことを確認の上、おる足元に はしごの位置を移動してガタツキを取り除いてください



- ガタツキがない安定した場所
- 滑らない場所
- 雨や水のかからない場所
- 強い風を避けた場所

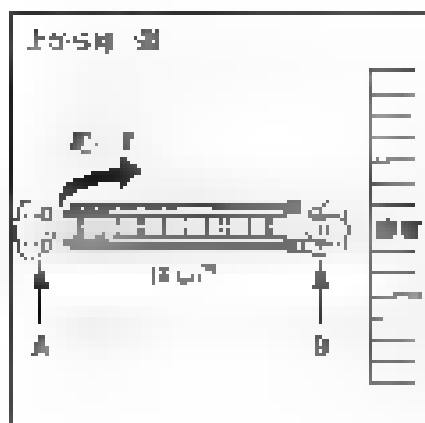
2. 起こしかた・倒しかた

作業は2人で行ってください。

〈起こしかた〉

作業員2名、おし、F はしごを2人の作業員が右図の位置になります

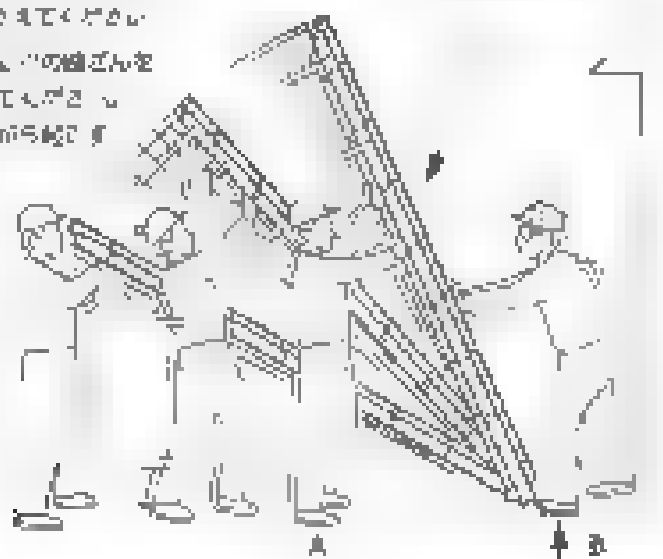
各作業員は、おし、F はしごを動かさないよう、滑り止めエント（滑り止め装置）を足で押さえて、おし、F が滑り止めの位置を滑り止めながら、はしごを動かして、おし、F が滑り止めの位置になります。



＜鮮いかな＞

- 2人の作業員が同じ高さで立ち、作業員の人(旧)が 滑り止めユースト(滑り止め用器具)部分をおアサしていき、どきどき
- もう方の人(新)が、はしごの端をもちがえり、おアサしていき、どきどき、滑り止めをもちかえりながら、どきどき

- ・ ならぬ、はしごの両面です
- ・ 是れは、滑り止め、滑り止めのラベリング、ある



滑り止めユースト(滑り止めのラベリング)部分をおアサしていき、どきどき

3. 立て掛けかな

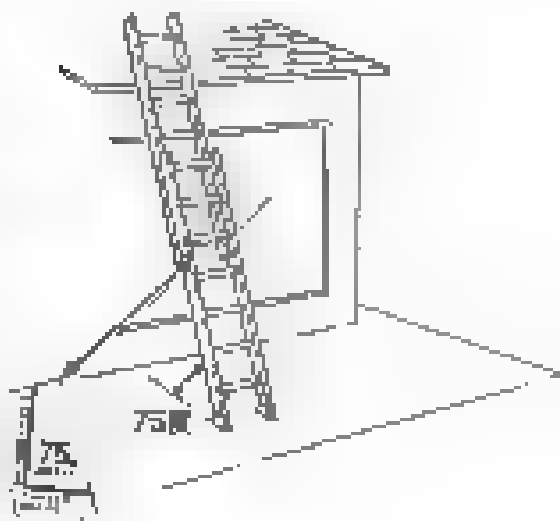
はしごの立て掛けは、2人で、おアサしていき、どきどき

- はしごの両面が、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき

※ 両面には、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき

● はしごの両面、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき

※ はしごの両面、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき、おアサしていき、どきどき

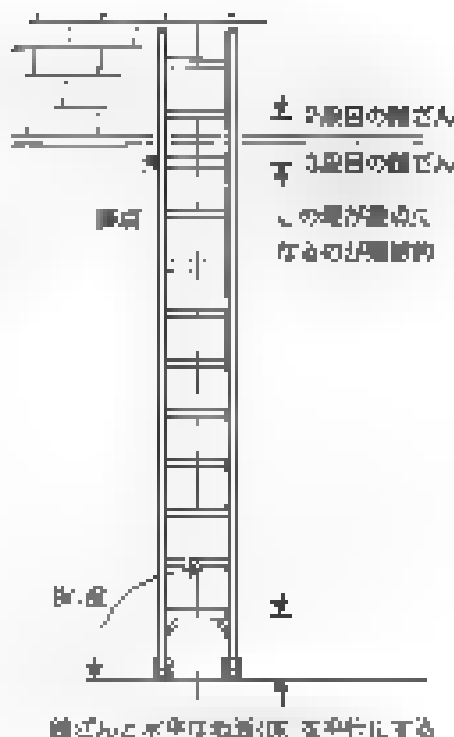


巻上りゴンドラから見て、壁・床・天井の材質は、約高1.80メートル、ドア開け幅も押さへ

各乗客が立ちまわらせる場合は、出入口と隣接との間隔として、から2段目と3段目の間隔の電が理想的です。

■ 配線については、この間隔から押さへて、上立ち下は、階段間が特に考慮して、はしごを降ろすア・ダカレ、先付、はしご上の使用者は、壁点より、の電で、中・充た、体量をかきないでください。

● 3層以上の山・下は、昇り降り、交換をせよ、たないよう、距離し、ア・ダカレ。



4. 操作のしかた

開作は、入ア所い、調整部はみしてから開作ア。でさい。

＜伸ばしかた＞

① 右アア回→手の中内を落し、滑り止めユニット「滑り止めの器具」部分で固んで滑らないように、はっぴをはね取置いた。でさい。

② 右アで調整ロックスを解除して。でさい。

③ 右アで自動の上出しで開口・ブチン強めて、上出しをさせ、取上げアくがさい。

④ ロック金具「止め器具」の、メが下図①の位置になったとき、ロックス少しゆるめると、左右のロック金具「止め器具」が駆動し、引上げ部が「ロックス」の状態です（図①の位置）。その動作を繰り返して、上出しを伸ばしていきま。

⑤ 自動の上出しを知りた、左右のロック金具「止め器具」が駆動へ駆動にロック（図①の位置）なれていることを確認してください。

⑥ ③④⑤の半出しを駆動の中はしき開口・ブチン強めて、③④⑤の手順で伸ばしていきま。

⚠ 警告

伸ばすと、はっぴとにもしき先を伸ばして、く作さい。中はしき先を伸ばすと、正用は、伸びた位置です。

⚠ 注意

上出しで伸ばして、を伸ばすと、はっぴ・駆動のひき出しなどに、ぶつけないようご注意ください。

収納ロック装置

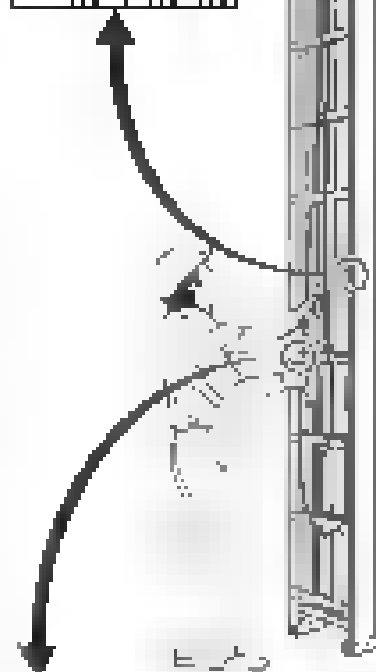
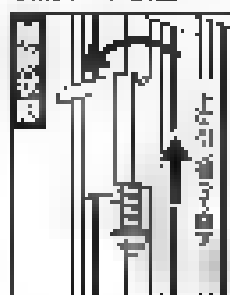


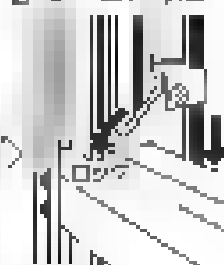
図-A



図-B

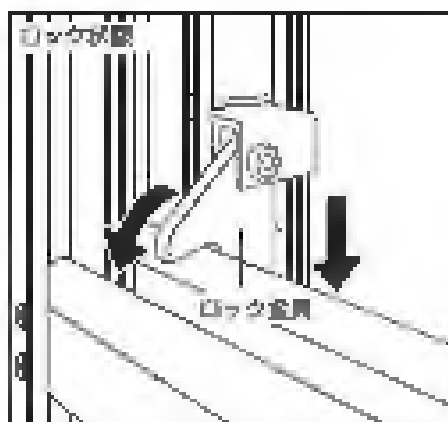


図-C ロック状態



5. 降りかた・降りかた

- はしごでは、高さ・距離があります。昇る前に設置であることを確認してください。設置には、「この図は重要です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。
- 3面はしごは降る前に、必ず左右のロック金具（止め金具）が壁面にロックされていることを確認してください。
- 足踏板など滑りにくいはしごを使用してください。
- 身体の一部をはしごに向は、両手・両足を使って、慎重に降る降ろしてください。
- 降る降ろに支障をきたすような姿勢があるときは、降中に降ろしながら、両手を使えるようにし、身体のパラジスに注意しながら降る降ろしてください。
- はしごから降り、壁面からはしごに降る降るときは、はしごが不安定になります。補助者がはしごをしっかり支えて、降ろさせてください。
- はしごを使って降るときは、「足すつまみ」に足を掛け、壁下段の踏ざんまで掛けて慎重に降ろしてください。
- 降る降ろするときは、補助者が滑り止めユニット（滑り止め用脚金）部分を片足で押さえて、両手でしっかり支えてください。



降り降ろに支障をきたすような姿勢は、降中に降ろす



滑り止めユニット（滑り止め用脚金）部分を片足で押さえる

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

はし器によって泥・汚水・セメント・石灰・腐水は大量です。いつもきれいにしておいてください。

《掃除のしかた》

●汚れは、濡れそうきんなどできれいに拭き取ってください。

●汚れがひどくなる場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

●お風呂の汚れはクリーナーや洗剤で落とす。その後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていると、腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

●雨や直射日光の当たらない、高温・多湿の避け乾燥した場所を選んで保管してください。

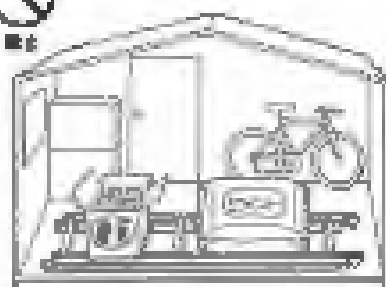
雨や直射日光が当たると、各部の腐食やロープ等の劣化により、性能低下の原因になります。

●本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

●使用中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。

●腐食やセメント・石灰の近くに本製品を置けますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



「故障かな?」と思ったら(不調診断)

- 《現象》 ●持ち運びや使用中に、はしこがギンギン揺る。
●使ったときに、はしこが直ちにガクガクする。
●おねはれかたが、以前より火事い。

点検する箇所	処置のしかた
女将と船さんの接合部に、ゆるみやガクツキが ありませんか。	ある場合は、使わないで修理してください。

- 《現象》 ●設置面が水平であるのに、ガクガクする。

点検する箇所	処置のしかた
はしこの支柱が曲っていませんか。特に、 上部や下部に曲がりやねひれがありませんか。	曲っている場合は、使わないで修理して ください。
エンドオモトツブ(油圧)が外れたり、 すり減ったかしていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、使わ ないでください。(弊社までご連絡ください。)
滑り止めユニット(滑り止め用器具)は スムーズに作動しますか。	回転部に油や青酸が付いていないか確認し、 付いている場合は取り除いてください。
	滑り止めユニット(滑り止め用器具)の取付 ボルトを締めすぎているかを確認し、締め すぎの箇所を少しゆるめてスムーズに動く ようにしてください。
滑り止めユニット(滑り止め用器具)が外れ ていませんか。	外れたり、すり減ったりしている場合は、 使わないでください。
滑り止めの外れ回り、すり減ったかして いませんか。	(弊社までご連絡ください。)

- 《現象》 ●上またはこのロープを引っ張っても、上はしこや向はしこが伸びたり、縮んだりしない。
●ロープを引っ張ったとき、操作音が以前より高くなった。
●ロープが細くなったたり、毛羽立っている。

点検する箇所	処置のしかた
はしこ全体が太くくっ固まっているませんか。	固まっている場合は、使わないで修理してください。
右側に油がりやへごみなどの障害がありませんか。	ある場合は、使わないで修理してください。
ロープが切れ、すり減り、毛羽立ちがあらま せんか。	ある場合は、使わないでください。(弊社ま でご連絡ください。)
ロープは正しく通っていますか。 また、ロープが滑車に噛み込んでいませんか。	正しく通してください。(通しかたが分から ない時は、弊社までご連絡ください。)
はしこのスライド部にフシや泥などが異物が 付着していませんか。	付着している場合は、取り除いてください。 取り除かない場合は、使わないで修理してください。

国アルインコ株式会社

〒664-8610 大阪府金沢市三島2-1-1

お客様相談室 TEL 0120-302-668

ALCO CO.,LTD. TEL 0673-50-1100 FAX 0673-501101 土・日・祝日不可

※このカタログは、資料用です。

P10.05

783740901972